

2007年11月21日

経済産業省東北経済産業局
局長 赤津 光一郎 様

仙台市青葉区柏木 1-2-45
宮城県生活協同組合連合会
会長理事 芳賀唯史
(公印省略)

灯油に関する要請書

向寒の砌 貴職におかれましてはますますご清栄のことと拝察申し上げます。

日頃、当連合会の運動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東北に住む私たちにとって冬の暖房は不可欠であり、「灯油」はその主力エネルギーとして欠かすことができない生活必需品です。灯油が適正な価格で安定的に供給されることが東北地区のすべての県民の願いです。

ところが、日本国内での灯油の在庫は、10月20日現在の灯油の製品在庫は4386千キロリットルで前年比81.3%（18.7%少ない）と前年より大幅に低い水準になっています。例年ピーク時（11月中旬）は確実に500万キロリットルを越えていますが、今年は500万キロリットルに到達しないのではないかとの見通しもあります。現に、10月27日現在の灯油在庫量は419万キロリットルと低空飛行を続けていて、ととも11月中旬に500万キロリットルを積み増すことはできない状況にあります。厳しい寒さがやってくると量に不安もでてきます。ぜひ、安心できる量の確保を徹底してください。

東北には製油所<仙台製油所 原油処理能力：145000 バレル/日>が一箇所あるのみで、この製油所で何らかの事故が発生した場合、商品の手当がおくれることと、更に価格が大幅に上昇することが懸念されます。そのためにも、安心できる量の確保が重要です。何か起きてからではなく、起きても大過なく対処できるように、事前に量の対応を十分に行い、万全を尽くす準備をお願いします。

この間、特約店から「11月は灯油の出荷規制が厳しく前年比70-85%の数量に押えられている。量の締め付けが厳しく、元売と価格交渉をするような状況にはない。一方的な価格通告になっている。」という話があります。暖冬の現在でも、このような状況が発生しているようです。これに厳しい寒さがやってきた場合は、灯油価格が暴騰するのではないかと心配です。出荷制限などの動きが実際にはないかどうか、調べていただき、寒波がやってきたとしても、価格急騰を防ぎ、安定供給が実現できるように対策をお願いします。

私たち生協の組合員は、毎年灯油の共同購入に参加し、利用をまとめて効率の良い配達で少しでも安く購入できるよう、また、量の確保もできるように運動を進めてきております。2007年は灯油の共同購入利用者を更に増やし、量の結集により適正な価格と安定的な供給を求めたいと思います。灯油の共同購入は利用者にはシーズンを通して安心して利用していただける合理的なシステムであり、より広めていくべきものと思います。

加えまして、私たち生協は環境問題にも日頃から取組んでおり、事業上の環境負荷を減少させたり、組合員の節電や資源節約などに取組み、省資源にも積極的に取組んでいます。

北国の生活必需物資である灯油が、高騰する状況を放置することは許されません。国は、責任をもって沈静化する政策の実施の必要性があり、以下について強く要請をいたします。

記

1. 東北各地の量の把握を実施し、安心できる灯油の量確保と安定供給を万全の体制でのぞむこと。

国はまず国内在庫の確保に全力を上げる必要があります。足下では在庫の逼迫感が価格急騰を招いている状態であり、適正在庫量を元売会社に確保させ、流通段階や家庭に安心感を広げるべきです。必要であれば国の原油備蓄を適正量取り崩しても事態の沈静化を測るべきです。

2. 業界の意図的在庫削減コントロール、出荷規制、買占め、ヤミカルテル、などによる便乗値上げが行われないよう国内の石油元売各社に対しての、調査・監視・指導の実施を強化すること。

石油情報センター発行資料（ウイークリーオイルマーケットレビュー）によると元売の特約店に対する卸売価格は、元売のコストアップ分で1割当たり10月1.6円上昇、11月4.6円、10-11月の2ヵ月間で6.2円の上昇見通しとなっています。実際の仕切価格は、さらに、この卸売価格に「未転嫁分がある」として、上積みされた実際の卸売価格が適用されています。私共が適用されている「仕切価格」は、10-11月の2ヵ月間で11.5円の大幅値上げになっています。『実に、コストアップ分と同額に近い、未転嫁分の上積みをしている』ということが出来ます。先物原油価格の高騰をいいことに、「千載一遇」的な卸売価格の上昇を図っているといえます。原油高騰に便乗した独占的商品の価格吊り上げは社会的に許されるものではありません。

3. 東北各地の拠点はもちろんの事、各地域ごとの在庫を定期的に把握し、広範な消費者に対し在庫状況に関する情報をわかりやすく提供すること。

厳しい寒さがやってくると量に不安もでてきます。何か起きてからではなく、起きても大過なく対処できるように、事前に量の対応を十分に行い、万全を尽くす準備をお願いします。

4. 急激な天候異変による在庫不足に対応するため、輸送体制を確保すること。

以上